

宮城の浜の海洋ゴミを減らそうプロジェクト

活動地域  宮城県

LOVE BLUE助成

2年目

調査研究

定点調査	4回
清掃活動	8回
今年度計画の達成度	100%
目標達成度	100%



荒浜での清掃活動

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

新型コロナウイルス禍で、大規模な調査・清掃活動やセミナーが実施できず、求める成果に近づけるための活動の修正を余儀なくされ、参加者を集めるのにも苦労した。

■ 工夫した点

予定通りの実施は難しいとわかった時点で方向転換し、広範囲のデータ収集はあきらめ、小規模で回数を増やして清掃活動し、大規模イベントの代わりに動画配信等を行った。

課題

県内各地の海岸で海岸ごみの定点調査ができていないということ。また海洋ごみについて他人事とらえている一般市民が多いということ。

目標

県内で海岸ごみの調査・清掃活動を行い、その結果から提言を行うこと。海岸にごみがなくなること。市民が海岸ごみに関心を持ち、ごみ抑制や清掃の意識を持ってもらうこと。

活動内容と成果

海洋ごみの定点調査を4回、清掃活動を8回行い、400袋で250袋ものごみを回収した。その結果、荒浜の海岸には目立ったごみはほとんどなくなった。小規模セミナー・ワークショップを8回、動画配信を1回(再生数76回)、取材対応・展示協力を4回行い、それぞれの機会を通じて多くの市民に海洋ごみ問題の深刻さを伝えることができた。その結果、定期的に海岸に足を運んでくれたり清掃に参加する市民が増え、海洋ごみ問題を自分事として意識してもらうことができた。



海洋ごみ普及啓発動画の一場面

全助成期間の活動を振り返って

県内全域の海岸では活動できなかったが、中心的に活動した荒浜においては、目に見えるごみはほとんどなくなり、地域住民や他団体による定期的な清掃活動の下地作りができた。また活動参加した市民は、海岸ごみには遠方から流れ着くものばかりではなく、河川から流れてきたと思われる身近なごみも多いことに気づき、問題意識を持ってもらうことができた。新型コロナウイルスの終息後に提言につながる説得力のあるデータ収集ができれば理想的。



宮城県主催イベントでの講師活動

〒981-0933
宮城県仙台市青葉区柏木1-2-45フォレスト仙台5F
電話：022-276-5118
E-mail：melon@miyagi.jpn.org
HP：https://www.melon.or.jp/



今後の展望

海岸清掃を行う団体や市民のネットワークができ、今後も継続した活動が期待できる。当団体としてもボランティアとともに無理のない調査・清掃活動を続け、たく短い活動ではなく、細くても長い活動を行っていきたい。清掃活動と並行して、できれば将来的に何らかのデータに基づく海洋ごみ問題解決のための実効性のある提言を行うところまでいきたい。